

DX 導入や IT 人材の育成に向け これからの可能性を感じさせてくれました。



小倉セメント 製品工業株式会社
総務部 大下 修平さん

01 有給インターンシップを知ったきっかけは何ですか？

北九州市ロボット・DX 推進センター主催の生成 AI 業務活用セミナーに当社の副社長が参加した際に、九州工業大学（九工大）の有給インターンシップ制度について紹介を受けました。その後、九工大の担当者の方に説明をいただき、活用させていただく運びとなりました。

02 有給インターンシップに申し込んだ目的を教えてください

社内 DX 推進と地域企業としての認知度向上が目的ですが、重きを置いていたのは DX 推進です。当社では長年培ってきた技術継承を重要事項と捉えており、対策の一つがマニュアル動画の制作です。そこでも DX 化が必要となってきますが、製造現場において DX 導入はハードルが高く、専門性を有する人材の確保に向けて九工大生の力を借りたいと思いました。



03 インターンシップ生を受け入れた感想をお聞かせください

九工大生には、若手従業員二人とともにマニュアル動画の制作および編集ソフトの操作指導をお願いしています。従業員は、製造現場の感覚的な部分を言語化し、それを分かりやすく伝えることが求められますが、学生さんも積極的に聞き出そうとする姿勢があり、共に努力しながら進めていると感じます。

04 この制度を活用して得られた成果はありますか？

動画制作には Adobe Premiere Pro を使用していますが、九工大生が必要な機能を的確に活用し、実際に従業員とともに作業を進めてくれるため、従業員も「これならできる！」と自信につながったようです。IT 人材を社内でも育成していくための、大きなきっかけになっていると感じています。

参加学生の声

Student's voice

動画編集をテーマとした、今回の有給インターンシップでは、趣味の編集を仕事として活かすことができ、とても楽しい経験となりました。企業の方と密に連携しながら進めることで、仕事の段取りを学ぶ良い機会にもなっています。マニュアル動画の制作を通じて、地域企業の業務内容を理解しながら、自らの編集技術も向上させることに繋がっています。また、企業の方に、編集技術を教える・共に学び合うという貴重な経験です。この有給インターンシップを通じて、動画編集のスキルアップや企業との関わり方を学び、今後のキャリアに活かせる経験となりました。

情報工学部 知能情報工学科 3年



小倉セメント 製品工業株式会社

Company overview

<https://recruit.kc-kokura.com/>

代表取締役：上田 泰博
〒802-0052
福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘三丁目11番10号



当社は創業以来、プレキャストコンクリートの製造・販売を行っています。プレキャストコンクリートとは、土木構造物や建築物などに利用されるコンクリート部材をあらかじめ工場で製造するコンクリートのことです。近年では、デジタル技術を活用した業務効率化（バックオフィスDX）や、環境に配慮したものづくり（GX事業）に力を入れています。その一環として、2023年12月から低炭素コンクリート「COCOLOW（ココロウ）」の製造・販売を開始しました。地域の発展を支えるインフラ整備において、環境負荷の少ない製品の製造や最新技術を取り入れながら、今後さらなる挑戦を続けていきます。

